

RedCap を利用した情報収集について

患者さんへ

当院は、「診療」を行う医療機関であると共に、教育研究機関として医療の「研究」と「教育」を使命としております。「研究」においては、良質で安全な医療を提供することを目的として、医薬品・医療機器の研究開発を推進しています。このため本院では皆さまの診療の過程で得られたデータや画像、動画などを個人が特定できない形にして教育研究目的で使用するにご協力をお願いしております。詳しくは当院治験臨床研究センターの臨床研究における情報公開について（オプトアウト）をご覧ください。

情報は匿名化して提供されるため、個人を特定されることはありません。また、情報管理には細心の注意を払って対処いたしております。

東北大学病院で行われている研究への参加

当院乳腺外科としては、東北大学病院で行われている REDCap（Research Electronic Data Capture：臨床研究に関するデータ収集とデータベース管理を目的として開発されたウェブアプリケーション。多様なデータの種類についてサポートしていると同時にセキュリティ面での対策がなされ設計されている）を利用した乳がん患者のデータベースにも協力しております。

対象は当院乳腺外科を受診された方すべてです。データを用いることにご協力いただけないとも不利益を被ることは一切ありませんので、個人のデータ収集に関して拒否される方は、主治医までお申し出くださるようお願いいたします。

また、研究の経過や結果についての個々のご照会には応じかねますので、何卒ご理解下さるようお願いいたします。

登録された情報の使われ方

登録される情報は、参加施設の治療成績向上ならびに皆さまの健康の向上に役立てるために、参加施設ならびに各種臨床領域にフィードバックされます。また、各領域が主導して医療の質向上を目的とした学術研究のために活用されます。この際に用いられる情報は集計・分析後の統計情報のみとなりますので、患者さん個人を特定可能な形で、データを公表することは一切ありません。なお、治療成績を適切に評価するために、診療科間および施設間での症例データを連携した研究が行われる場合があります。

研究においてデータ利用の依頼があった場合には、その都度研究に対するオプトアウトがありますので、当院ホームページやデジタルサイネージをご確認ください。

問い合わせについては受診された乳腺外科主治医までご連絡下さい。